

契約事務(基礎)研修

～契約事務の基礎を学ぶ～



◆こんな方におすすめ！

- ・契約事務の基礎について学びたい方
- ・契約事務を担当する方
- ・監査事務を担当する方 など

◆研修のねらい

地方公共団体では、用地買収契約、建設工事契約、土木工事契約、購買契約等、契約にまつわる問題は大変複雑化する傾向にあり、その事務手続きにおいては、透明性・公平性の確保が不可欠です。

この研修では、契約行為の問題を取り上げ、地方公共団体の契約を中心に事例を交えながらわかりやすく解説します。

※研修の内容は、基礎的な内容（概ね経験年数2年目未満の方にもご理解いただける内容）で実施します。

◆講師情報

一般社団法人 日本経営協会
講師 柳 久之
(元 東京都財務局参事)

◆予定科目

- 1 契約の意義、原則
- 2 契約締結の手続き
- 3 談合情報、暴力団対応
- 4 地方公共団体の契約の透明性の向上
- 5 予定価格、適正規模等発注方式の改善
- 6 中小企業対策と地元業者の育成
- 7 総合評価による落札決定方式
- 8 入札・契約方式の更なる改善等

◆研修情報

●対象者 受講を希望する職員

●募集人員 35名

●日程及び会場

令和3年5月25日(火)～5月26日(水)

宮日会館10階大会議室

《研修時の持参物》

- ・地方自治法及び民法が掲載された法令集（自治六法等）

※忘れますと研修に支障を来しますので、必ずお持ちください。

◆受講者の声

◎ 普段の業務に直結する内容であり、全項目について業務にいかせる内容だった。また、必要法令だけを抜粋した法令集や国の動向、通知等をまとめた資料など業務に役立つものをいただけた。より一層、適切な契約事務に努めたい。

◎ 契約業務における基礎知識を丁寧に科目を押さえながら学ぶことができ、改めて契約とはということを考えることができた。文章からでは読み取れない考え方や捉え方を学ぶことができたので、しっかり業務にいかしたい。

◎ 契約を初めて担当する人にとっては分かりやすく、契約にある程度携わっている人にとってはこういうことだったのかと再確認できる良い研修だった。

◎ 研修の内容、講師の先生の進め方が非常によく、始終意欲を損なうことなく受講することができた。

◆スケジュール

	9:30	9:45	10:00	12:00	13:00	16:30
1日目		開講式 オリエンテーション	基礎知識	休		基礎知識
2日目		実務・運用			憩	実務・運用

公会計のための簿記セミナー（基礎編）

～簿記の基礎を学び、コスト意識を身に付けよう！～



◆こんな方におすすめ！

- ・簿記の基礎知識について学びたい方
- ・地方公会計について学びたい方
- ・財務書類の見方について学びたい方 など

◆研修のねらい

地方分権の進展に伴い、自治体職員には、これまで以上に責任ある行政経営が求められています。そのため、資産や負債の情報を含めた複式簿記の基礎知識を学ぶ必要があります。

国においても、財務書類作成の統一的な基準を示し地方公会計の整備推進を図っています。

このセミナーでは、簿記の基礎を重点的に学び、貸借対照表や損益計算書を作成することで決算・財務分析の実践的な学びにつなげ、公会計の基礎知識を習得することをねらいとしています。

◆講師情報

南九州短期大学

講師 佐藤 弘太郎

◆予定科目

- 1 簿記の歴史
- 2 簿記の種類と目的
- 3 発生主義会計による記帳方法
取引、仕訳、勘定記入
試算表
- 4 財務諸表の作成
損益計算書、貸借対照表
キャッシュフロー計算書
- 5 公会計における財務書類4表

◆研修情報

- 対象者 受講を希望する職員
- 募集人員 各回35名 合計70名
- 日程及び会場
第1回：令和3年4月27日（火）～4月28日（水）
宮崎県婦人会館3階大会議室さくら
第2回：令和3年6月9日（水）～6月10日（木）
自治会館3階大会議室

《研修時の持参物》

- ・10桁以上表示できる電卓

※忘れますと研修に支障を来しますので、必ずお持ちください。

◆受講者の声

- ◎ 異動により業務上必要となったので受講した。テキストが分かりやすく日常業務でも使用したい。
- ◎ 簿記は全くやったことがなかったが、結構分かりやすかった。応用編も受講してみたい。
- ◎ 本を読んでも一向に理解できなかった簿記について事例を交えて分かりやすく解説してくれたことにより、ある程度、理解できました。
- ◎ 担当業務において法人監査があり、財務諸表を見ることが多いので今後の業務に生かしたい。

◆スケジュール

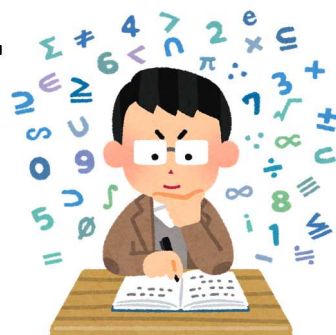
9:30		9:45		10:00		12:00		13:00		16:30	
1日目		開講式 オリエンテーション	簿記の歴史 簿記の種類と目的 発生主義会計による記帳方法			休 憩	発生主義会計による記帳方法				
2日目	財務諸表の作成						財務諸表の作成			公会計における 財務書類4表	

◆関連研修

- 公会計のための簿記セミナー（応用編）
- 公営企業会計セミナー（公営企業会計について学びたい方）

公会計のための簿記セミナー (応用編)

～簿記を深く学び、予算編成につなげよう～



◆こんな方におすすめ！

- ・簿記について詳しく学びたい方
- ・地方公会計について学びたい方
- ・簿記分析、損益分析を学びたい方 など

◆研修のねらい

この研修では、簿記のスキルアップとともに、減価償却や短期利益計画、損益分析を学ぶ事で、予算編成のための現状分析力を身に付けることをねらいとしています。

◆講師情報

南九州短期大学
講師 佐藤 弘太郎

◆予定科目

- 1 簿記セミナー（基礎編）の振り返り
- 2 帳簿の締め切り（英米式決算法）
- 3 消費税（税抜法・税込法）
- 4 決算整理（応用編）
実践的精算表（日商3級改訂程度）
- 5 短期利益計画（日商2級改訂程度）
損益分岐分析（CVP分析）、利益計画
安全余裕率、原価分解、費目別精査法
- 6 予算設定
固定予算、公式法変動予算
総務省統一の基準との整合性

◆研修情報

- 対象者 簿記の基礎知識を有する職員
受講を希望する職員
- 募集人員 35名
- 日程及び会場
令和3年11月25日（木）～11月26日（金）
自治会館3階大会議室

《研修時の持参物》

- ・10桁以上表示できる電卓
- ※忘れずと研修に支障を来しますので、必ずお持ちください。

◆研修担当者より

公会計のための簿記セミナー（応用編）は、基礎編のおさらいから、簿記ソフトでは自動で行われている「簿記の締め切り」、「決算」等について、手書き作成を通じてしっかりと身に付けることができる研修です。

また「損益分岐分析」「利益計画」等の短期利益計画を学ぶ事で予算編成などの実務で活かせる研修となっています。

講義はすべて、難解な公式や図表を覚えるのではなく、予算編成時の見込みを考える際「何が必要なのか？」「なぜ、必要なのか？」という素朴な疑問と、公会計簿記を結び付けていく内容です。

◆スケジュール

9:30		9:45		10:00		12:00		13:00		16:30	
1日目		開講式 オリエンテーション		基礎編の振り返り 英米式決算法		休 憩		消費税（税抜法・税込法） 実践的精算表の作成			
2日目		短期利益計画 損益分岐分析（CVP分析）						短期利益計画 予算設定との結合			

◆関連研修

- 公会計のための簿記セミナー（基礎編）
- 公営企業会計セミナー（公営企業会計について学びたい方）

公営企業会計セミナー

～公営企業会計の仕組みを知る～



◆こんな方におすすめ！

- ・公営企業会計担当の方
- ・公営企業会計の仕組みを学びたい方 など

◆研修のねらい

このセミナーでは地方公営企業会計の実務の基礎を学びます。

簿記の基礎的知識である財務諸表（貸借対照表、損益計算書等）から解説するとともに、地方公営企業の予算書・決算書の読み解き方や地方公営企業会計制度改正への対応について、講義及び演習を通して理解を深めます。

◆講師情報

早稲田大学 研究院 准教授

早稲田大学 総合研究機構 水循環システム研究所
主任研究員 佐藤 裕弥

◆予定科目

- 1 簿記の基礎
- 2 公営企業会計の原則
- 3 公営企業制度
- 4 地方公営企業における予算、決算
- 5 地方財政健全化法の概要
- 6 地方公営企業会計の実務上の留意点
- 7 地方公営企業制度改正への対応
- 8 演習問題

◆研修情報

- 対象者 公営企業会計事務担当職員
簿記の基礎知識を有する職員
受講を希望する職員

- 募集人員 35名

- 日程及び会場
令和3年6月30日（水）～7月1日（木）
自治会館 3 階大会議室

《研修時の持参物》

- ・電卓
 - ・公営企業経理の手引き（最新のもの）
 - ・地方公営企業関係法令集
 - ・自団体の公営企業会計決算書（直近のもの）
- ※忘れますと研修に支障を来しますので、必ずお持ちください。

◆受講者の声

- ◎ 決算書の損益計算書や貸借対照表の見方、公営企業会計のしくみなど公営企業の業務に携わる中で、必要なことを詳しく学ぶことができた。
- ◎ 水道課で経理の業務を行っているが、経験の長い周りの職員に頼ってばかりだった。今後は周りの職員に頼らず、今回の研修で学んだことを実践していきたい。

◆スケジュール

9:30		9:45		10:00		12:00		13:00		16:30	
1日目		開講式 オリエンテーション		簿記の基礎 公営企業会計の原則		休 憩		公営企業制度 地方公営企業における予算、決算			
2日目		地方財政健全化法の概要 地方公営企業会計の実務上の留意点						地方公営企業制度改正への対応 演習問題			

◆関連研修

- 公会計のための簿記セミナー（基礎編・応用編）（簿記についてを学びたい方）

会計監査基礎研修

～コスト感覚、財政感覚を磨く～



◆こんな方におすすめ！

- ・会計監査の基礎を学びたい方
- ・財務4表の作成と分析について学びたい方
- ・財務感覚を身につけたい方 など

◆研修のねらい

行政職員には、コスト意識や経営感覚を身につける事が求められています。

この研修では、公会計制度の現状について学ぶとともに、財務諸表の見方を体験し、財務分析を理解することで会計監査のポイントを身に付けることをねらいとしています。

◆講師情報

日本ビジネスドッグ株式会社
主任講師 関口 康尚

◆予定科目

- 1 会計の概要と目的
 - ・企業会計の概要と目的
 - ・公会計の概要と目的
- 2 財務思考力を向上させる
 - ・複式簿記と財務的思考力
 - ・決算書の分析と活用
- 3 会計監査の概要と目的
 - ・監査の為に必要な知識
 - ・会計監査のポイント
- 4 会計のコンプライアンス
 - ・企業会計のコンプライアンス
 - ・公会計のコンプライアンス

◆研修情報

- 対象者 会計及び監査事務担当職員
財政事務担当職員
受講を希望する職員

- 募集人員 35名

- 日程及び会場
令和3年9月7日(火)～9月8日(水)
自治会館3階大会議室

＜研修時の持参物＞

電 卓

※忘れますと研修に支障を来しますので必ずお持ちください。

※簿記の基礎知識がない方は、研修受講前に「公会計のための簿記セミナー（基礎編）」を受講すると研修内容がより理解しやすくなります。

◆研修担当者より

この研修では、会計監査の基本となる公会計制度の現状や財務諸表の見方を学び、研修後半では会計監査のポイントについて学びます。

会計監査の視点を多く取り入れた研修内容で、会計・監査事務を担当する職員や財務感覚を磨きたい方にお勧めです。

また、講師はロールプレイング等を取り入れた実践指導で定評がある講師です。

◆スケジュール

	9:30	9:45	10:00	12:00	13:00	16:30
1日目		開講式 オリエンテーション	会計の概要と目的	休		財務思考力を向上させる
2日目		会計監査の概要と目的			憩	会計のコンプライアンス

◆関連研修

- 公会計のための簿記セミナー（基礎編）
- 公会計のための簿記セミナー（応用編）
- 公営企業会計セミナー

税務関係職員初任者研修

～税務職員として必要な知識、法的根拠などの基礎を学ぶ～



◆こんな方におすすめ！

- ・税務全般の基礎を学びたい方
- ・地方税の諸情勢に関心のある方 など

◆研修のねらい

地方税事務を体系的に理解し、課税から徴収までの基本事項を習得することで、多様化・複雑化する地方税事務に対応できる幅広い知識を身に付けます。

◆講師情報

宮崎県総務部市町村課
税政・交付税担当職員
公益財団法人 東京税務協会
専門講師 野木 義昭

◆予定科目

- 1 地方財政の中の地方税
- 2 租税のあらまし
- 3 住民税概要
- 4 固定資産税概要
- 5 徴収事務概要
- 6 その他諸税の概要
- 7 事例演習・情報交換・グループ討議

◆研修情報

- 対象者 税務関係職員
(主対象：経験年数2年未満の職員)
- 募集人員 各回35名 合計70名
- 日程及び会場
第1回：令和3年10月5日(火)～10月6日(水)
宮崎県婦人会館3階大会議室さくら
第2回：令和3年10月7日(木)～10月8日(金)
延岡市役所5階災害対策本部室

《研修時の持参物》

- ・地方税法等が掲載された法令集（自治六法等）
※忘れますと研修に支障を来しますので、必ずお持ちください。

◆受講者の声

- ◎ 税の基本的な仕組みを学ぶことができ、自分の行っている業務の強制力を再認識できた。
- ◎ 課税＝行政処分という認識は今まで無かった。今回の研修で、納税通知書を送ることで、命令をしていたということに気付かされた。
- ◎ 簡潔で分かりやすいキーワードや、事例を用いた説明によりスムーズに理解することができた。
- ◎ 住民サービスの根幹に関わる業務なので、今回の研修で学んだことを復習しながら、業務を遂行したい。

◆スケジュール

	9:30	9:45	10:00	12:00	13:00	16:30
1日目		開講式 オリエンテーション	地方財政の中の地方税	休		住民税・固定資産税概要
2日目		固定資産税・徴収事務の概要 その他諸税の概要		憩		事例演習、情報交換、グループ討議

税務関係職員 固定資産税事務研修 (家屋中級)



～事例演習を通して、実務能力の向上を図る～

◆こんな方におすすめ！

- ・固定資産税事務のレベルアップを図りたい方
- ・家屋の課税と評価方法を学びたい方 など

◆研修のねらい

固定資産税は地方公共団体の貴重な自主財源の一つであり、法律や条例等に基づき、適切かつ公平に事務を行う必要があります。

この研修では、家屋の課税・評価に関する実務運用手法を習得するため、事例演習と解説を加えながら、実践的ノウハウを学ぶことをねらいとしています。

※固定資産税事務研修は「土地中級」と「家屋中級」を隔年で開催しています。今年度は「家屋中級」を開催します。

◆講師情報

公益財団法人 東京税務協会
専門講師 堀川 稔

◆予定科目

- 1 家屋の課税について（講義）
- 2 家屋の課税について（事例演習等）
- 3 家屋の評価について（講義）
- 4 家屋の評価について（事例演習等）
- 5 講評・解説・質疑応答

◆研修情報（隔年開催）

●対象者 基本的事項を修得した固定資産税事務経験2年目以降の職員

●募集人員 35名

●日程及び会場
令和3年9月29日（水）～9月30日（木）
宮崎県婦人会館3階大会議室さくら

《研修時の持参物》

- ・電卓
※忘れますと研修に支障を来しますので、必ずお持ちください。

◆受講者の声

- ◎ あいまいに覚えていた部分にしっかりとした答えを持つことができた。もっと早く受講できればと思うほど素晴らしい研修だった。
- ◎ 根拠のある理論立てた研修だったので、市民への説明に非常に役に立つと思う。
- ◎ グループでの事例演習は他の自治体の取り扱いなどを聞く事ができ、有意義な意見交換になった。
- ◎ 有益な情報の集まった資料をいただいた。常に手元に置き、各案件と照らし合わせて適正公平な課税評価を行っていききたい。

◆スケジュール

	9:30	9:45	10:00	12:00	13:00	16:30
1日目		開講式 オリエンテーション	家屋の課税について	休		事例演習、講師解説、情報交換
2日目			家屋の評価について	憩		事例演習、講師解説、情報交換

◆関連研修

- 民法セミナー（民法の基礎を学びたい方）

債権徴収事務研修 (公債権)



債権徴収事務の手法を学んで徴収率アップを目指そう

◆こんな方におすすめ！

- ・債権徴収事務のレベルアップを図りたい方
- ・自治体債権に関する滞納整理手続について学びたい方 など

◆研修のねらい

自治体が自立した行財政運営を進めていくためには、自主財源の要となる税や公的料金の確保が重要であり、公正、公平に滞りなく徴収するための強化が求められています。

私債権・公債権を隔年開催とし、今年度は公債権徴収（地方税、保育料、下水道使用料等）に関する研修を実施します。

◆講師情報

一般社団法人 日本経営協会
講師 杉之内 孝司

◆予定科目

【1日目】

- ・徴収事務（滞納整理）の基本的事項
- ・納期限に関連する基本的事項
- ・徴収権の消滅時効

【2日目】

- ・納付納税の猶予制度
- ・狭義の滞納処分としての差押と財産調査
- ・相続による納付義務の承継と連帯納付義務

◆研修情報

●対象者 公債権徴収事務担当者

●募集人員 35名

●日程及び会場

令和3年6月22日（火）～6月23日（水）

宮崎県建設会館 5階会議室

※令和2年度とは講義内容が異なります。

令和2年度 私債権

令和3年度 公債権（私債権、公債権を隔年開催）

◆受講者の声

- ◎ 滞納整理の基本や債権徴収における強制執行等を学び、今後の実務にいかしていきたい。また、財産調査や差し押さえについても学ぶことができ、大変参考になった。
- ◎ 債権の種類、発生、強制執行までの流れを理解することができた。根拠資料や参考となる資料もあり、今後の業務にいかせる内容の研修だった。
- ◎ 財産調査について学ぶことができ、関係課との連携を取りながら実務を進めていこうと感じた。
- ◎ 2日間の研修で滞納処分や財産調査について深く学ぶことができた。講義では他自治体の事例や判例など参考となるものが多く、実務にいかせる内容だった。今後の業務では、根拠法令を意識しながら、適切な滞納処分を行っていきたい。

◆スケジュール

	9:30	9:45	10:00		12:00	13:00		16:30
1日目		開講式 オリエンテーション	徴収事務（滞納整理）の 基本的事項	休			納期限に関連する基本的事項 徴収権の消滅時効	
2日目			納付納税の猶予制度	憩			狭義の滞納処分としての差押と財産調査 相続による納付義務の承継と連帯納付義務	

◆関連研修

- 民法セミナー（民法の基礎を学びたい方）